

岐阜県主催
受講者募集

農林水産省
認定

農福連携 技術支援者育成研修



農福連携 技術支援者とは

募集人数
20名程度

受講料
無料

農福連携技術支援者とは、農福連携に携わる当事者（農業者・就労系障がい福祉サービス事業所の職業指導員・障がい者本人等）に対し、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材のことです。

修了試験を含む全ての研修課程を受講し、農林水産省から、必要な知識と技能を身につけたと認められた方は、研修修了者となり、「農福連携技術支援者」（農林水産省認定）として活動することができます。



受講対象者

次のすべての要件を満たす方

1. 農福連携の支援に関わっている方、またはこれから関わろうとする方（農業者、障がい福祉事業所職員、JA職員、自治体職員 等）
2. 研修内容をすべて受講できる方
3. 研修終了後に「岐阜県農福連携技術支援者リスト」に登録・公表が可能で、岐阜県内で農福連携を推進するために活動できる方

申込方法

申込はこちらから



申込期間

令和7年7月18日(金)から8月15日(金)

※応募者多数の場合は、岐阜県在住者を優先して受講者を決定します
※受講者決定の詳細等についてはお答えできませんので、ご了承ください

【問合せ先】

岐阜県農政部農業経営課

TEL : 058-272-8421

E-mail : c11419@pref.gifu.lg.jp

農福連携技術支援者育成研修

時間割

1. 座学研修 (e-ラーニング)

配信期間

令和7年8月25日(月)～11月14日(金)

時 間

①～⑩ 各1時間30分 ⑪のみ 3時間

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| ① 農福連携概論 | ⑥ 農業と農村社会 |
| ② 社会福祉と障害者福祉 | ⑦ 農作業の一般的な特徴 |
| ③ 障害者雇用と障害福祉サービスの仕組み、関係機関の役割 | ⑧ 農業経営の仕組み |
| ④ 障害福祉サービス事業の運営の実務 | ⑨ 農作業の流れ |
| ⑤ 障害特性と職業的課題の基礎 | ⑩ 農業者による農福連携の経営実務 |
| | ⑪ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 |

受講者には受講者専用サイト (YouTube) のURLを送りますので、期間中、ネットワーク環境がある場所にて各自で受講してください。
また、配信期間中に確認テストを実施してください。

2. 実地研修 + グループワーク (3日間)

日時	内容	場所	講師
11月18日 (火) 9:30～ 17:00	開講式	岐阜県農業大学校 (可児市坂戸938)	一般社団法人 ノーマポート 高草 雄士氏
	【障害特性に対応した農作業支援技法】 ・グループワーク ・振り返り		
	【農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法】 ・実習①畝立て作業 ・振り返り		
11月19日 (水) 9:00～ 17:00	【農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法】 ・実習②セルトレイ等への播種作業 ・振り返り	岐阜県農業大学校 (可児市坂戸938)	一般社団法人 ノーマポート 高草 雄士氏
	【農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法】 ・実習③サツマイモの収穫作業 ・振り返り		
12月3日 (水) 9:30～ 15:20	【障がい者福祉サービス事業の運営の実務】 ・事業所見学	株式会社DAI (関市平和通3-1212)	株式会社DAI 中島 憲吾氏
	・修了試験	せきてらす (関市平和通4-12-1)	—

注意事項

- 実地研修では、ほ場において農作業を行いますので、農作業に適した服装をしてください。
農機具等を使用するため危険が伴う場合もあります。必ず講師や主催者等の指示に従ってください。
また、健康保険証を持参してください。併せて、任意の傷害保険への加入をお勧めします。
- 今回実施する研修は、農林水産省が作成した基準プログラムに準拠しています。
最終日の修了試験実施後、「農福連携技術支援者」の認定まで1～2か月程度かかります。
なお、「農福連携技術支援者」は国家資格ではありません。